

鹿児島厚生連病院 連携室だより

チームワークで地域医療に貢献します。



鹿児島厚生連病院

〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目13番1号 ☎(代表)099-252-2228

地 域 医 療 連 携 室 : 電話 099-252-9878 FAX 099-252-2228
連携室メールアドレス E-mail : kou.hsp-renkei@ks-ja.or.jp
ホ ー ム ペ ー ジ <http://www.kago-ksr.or.jp>



詳しい診療内容は、
こちらでご確認ください ↑

腎臓内科

STAFF スタッフ

久保 拓也 (くぼ たくや)



所属学会

- ・日本内科学会
- ・日本腎臓学会
- ・日本透析医学会

認定医・指導医

- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本腎臓学会腎臓専門医

評議員・その他

- ・緩和ケア研修会終了
- ・難病指定医
- ・身体障害者福祉法第 15 条第 1 項に規定する医師

腎臓内科の診療について

2018 年 4 月 1 日より常勤医師 1 名体制で診療をしています。

鹿児島厚生連病院の基本理念である「予防から治療にいたる一貫体制」のなか、生活習慣病のひとつでもある慢性腎臓病（CKD）を増加させないよう診療を行っています。

CKD は慢性に経過するすべての腎臓病を指します。成人の 8 人に 1 人が CKD と考えられており、新たな国民病ともいわれています。糖尿病や高血圧などとの関連も深く、高齢の方ほど腎機能は低下しやすくなります。CKD は進行すると、むくみ、貧血、倦怠感などの症状が現れてきます。残念ながら現代の医療をもってしても CKD となり低下した腎機能の回復は難しいです。治療は、腎機能の悪化する原因をみつけて、それをとりのぞく、または抑えることで、それ以上腎機能を悪化させずに、現在の腎機能をなるべく温存することが目標となります。そのため、CKD が進行する前に早期に発見し治療介入することが大切です。CKD は初期には自覚症状はほとんどなく、体調の変化だけで早期に見つけることは難しいです。血液検査や尿検査で腎機能の評価は可能ですので、定期的に健康診断をうけていただき、異常を指摘された際にはぜひ腎臓内科を受診していただければと思います。

外来・入院診療の他、人工透析についても装置を 6 台に増設し、現在体制を拡充しています。他科に入院された維持透析患者さんが全身状態の変動する加療中にも、適切な透析を維持できるよう努めています。

また当院で診療中に透析導入となった場合には、維持透析にも対応しており、今後はさらに人工透析装置の増設も予定しています。現在は月水金に透析を行い、その他の日時で必要になった場合には適宜対応しています。

地域に貢献できる医療機関として、当科も尽力してまいりますので腎疾患に関するご相談・ご紹介をいただけるよう今後ともよろしくお願ひいたします。

透析室の紹介

2018年の新病院移転に伴い透析室が新たに新設され医師、看護師、臨床工学技士で構成されています。新規透析導入、外来透析、他科で治療を受けるための入院透析、特殊血液浄化（持続血液透析濾過、血漿交換、吸着療法、腹水濃縮還元）を行っており、患者様一人一人とのコミュニケーションを大切にしています。

透析導入してからの患者様のQOLを第一に考え、食事の相談や運動療法、フットケアなど他部門と連携をとり「安全な医療」を提供できるようにスタッフ一同努めています。

透析室は当院4階にあり、錦江湾・桜島を一望でき、現在透析ベッドは6床あり、感染症の患者に対応するための個室もあります。

年々他科からの透析依頼も増えつつあり、今後も増床していく予定です。

透析室の特徴

●厳密な透析液の管理

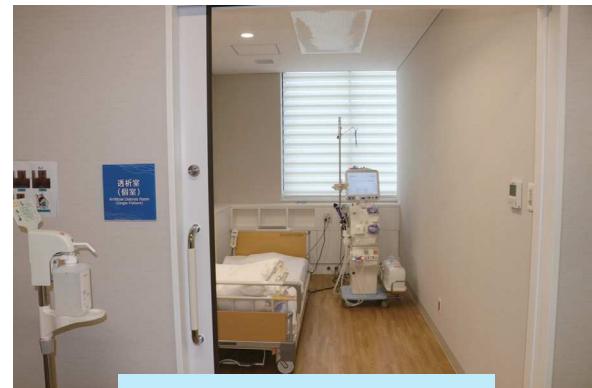
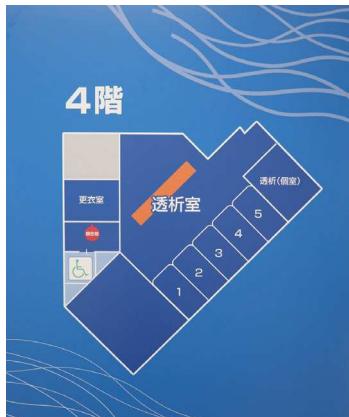
機械室及び末端透析装置それぞれに微粒子除去フィルターを設置し、毎月データーを測定

設備

- 透析ベッド数：6床
- 日機装社製透析装置 DBB-100NX、DBB-200Si
- ロッカー貸し出し



透析室の窓から見える桜島



感染症患者対応可能な個室

健康塾で「循環器病」について学びました

7月23日（土）厚生連病院において、健康塾を開催しました。

この健康塾は、健康教育を通して地域の皆様に貢献することを目的に、定期的に開催しているものです。今年度はコロナ禍により、感染対策を徹底したうえで、1回目の開催となりました。

今回のテーマは「循環器病にならないために～あなたの血圧は大丈夫～」と題し、当院の循環器内科部長の新里拓郎医師が、「心臓病とは」「脳卒中とは」「高血圧による脳心血管病のリスク」「血圧測定の大切さ」「治療の基本は生活習慣の改善」など、循環器病を分かりやすく、具体的に説明しました。

研修後の質疑応答につきましても、参加者から活発な質問に対して、講師の丁寧な回答があり、参加者の理解が深まりました。

研修後のアンケートでは「あらためて血圧の大切さを感じることが出来た」や「毎日血圧を測ることから始めたい」「塩分の取りすぎに注意して適度の運動を頑張りたい」など、自分の生活習慣の何を修正していくべきか、多くの受講者に気づきが見られ、地域の皆様に貢献できた時間になったのではと思われました。

今後も、新型コロナウイルスの感染症の状況を考慮しながら定期的に開催してまいります。



講演する新里部長



開閉会挨拶・座長を担当する
徳重院長



研修の様子

外科 平瀬 雄規医師が出前講義に参加しました!!

2022年7月21日に鹿児島県立中央高等学校におきまして「かごしま“職”的魅力発見プロジェクト」と題して県内企業等による出前講義が行われ、当院より平瀬が参加させて頂きました。

コロナ禍の夏休み中ではありましたが、十分な感染対策の下、多くの学生が聴講してくれました。

鹿児島県における地域医療の現状や課題を伝えるとともに、医療職の魅力ややりがいについてお話しさせて頂きました。一人でも多くの生徒が鹿児島県の医療に興味を持ち、将来一緒に働くことができれば幸いです。



病診連携セミナーを開催しました!!

● 循環器疾患地域連携Web講演会(2022.6.14)…聴講者:85名

一般講演 「循環器疾患薬物治療アップデート」

鹿児島厚生連病院 循環器内科 下野 洋和 先生

特別講演 「慢性心不全の診かた ~かかりつけ医に知っておいてほしいこと~」

鹿児島厚生連病院 循環器内科 部長 新里 拓郎 先生

地域の先生方と連携しながら精力的に取り組んでいきます。
お困りのことなどございましたら、お気軽にご相談・ご紹介ください。



新里拓郎

恒成 博

下野洋和

※著者作成

● 鹿児島肝疾患病診連携セミナー(2022.6.29)…聴講者:83名

【講演Ⅰ】 「根治・長期予後を目指したレントガニズムの使い方～副作用マネジメントも含めて～」

広島大学大学院 医系科学研究科 消化器・代謝内科学 准教授 相方 浩 先生

【講演Ⅱ】 「HBs抗原の消失 ~自然経過と治療介入~」

独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター 院長 八橋 弘 先生



「献血功労者感謝状」を頂きました。

当院では1996年から職場内の献血運動を積極的に展開。定期的な職員への呼びかけで継続的な協力に繋げていることが、他の施設への模範となると評価された。

前之原名誉院長は、贈呈式にて「急性期の病院で輸血を必要とする患者もあり献血の重要性を痛感する。病気治療、予防の観点からも引き続き献血に協力していく」と述べた。



鹿児島厚生連病院 外来診療のご案内

診療時間	平日	8:30 ~ 12:00 (受付/ 8:00 ~ 11:30)	14:00 ~ 17:00 (受付/ 13:00 ~ 16:00)
	土曜	8:30 ~ 12:00 (受付/ 8:00 ~ 11:30)	日曜・祝祭日 休診 (急患はこの限りではありません)

※は要予約

令和4年9月～

診療科	時間帯	月	火	水	木	金	土
一般内科	午前	最勝寺 晶子	今村 也寸志	今村 也寸志 大井 貴之	今村 也寸志	今村 也寸志	最勝寺 晶子 森 聰志
	午後	吉元 康二	—	—	—	—	—
肝臓内科	午前	窪薙 修 平峯 靖也 最勝寺 晶子	窪薙 修 馬場 芳郎 樋脇 卓也 今村 也寸志	今村 也寸志 最勝寺 晶子	田原 憲治 今村 也寸志	井戸 章雄 平峯 靖也 今村 也寸志 樋脇 卓也	樋脇 卓也(第2.4週) 最勝寺 晶子(第1.3.5週) 金丸 紗千 馬場 芳郎(第1.2.3週)
	午後	窪薙 修 ※平峯 靖也 ※最勝寺 晶子	窪薙 修 ※樋脇 卓也	※今村 也寸志 ※最勝寺 晶子	※今村 也寸志	※平峯 靖也 ※今村 也寸志 ※樋脇 卓也	—
糖尿病内科	午前	細山田 香 赤星 光紀	細山田 香 緒方 三千恵	細山田 香	赤星 光紀	細山田 香	細山田 香(第1週) 赤星 光紀(第3週)
	午後	細山田 香	—	—	—	—	—
腎臓内科	午前	—	久保 拓也	—	—	—	久保 拓也
	午後	—	久保 拓也	久保 拓也	—	—	—
消化器内科	午前	徳重 浩一 藤田 俊浩 中村 勇一	福田 芳生 柊元 洋紀	柊元 洋紀 川平 真知子 中村 勇一	徳重 浩一 藤田 俊浩	鮫島 洋一 川平 真知子 田中 啓仁	※福田 芳生 ※柊元 洋紀 ※藤田 俊浩 ※鮫島 洋一 ※川平 真知子
	午後	—	—	—	—	—	—
循環器内科	午前	新里 拓郎 下野 洋和	新里 拓郎 下野 洋和	恒成 博 下野 洋和	新里 拓郎 下野 洋和	恒成 博 新里 拓郎	恒成 博(第1・3・5週) 新里 拓郎(第2・4・5週) 下野 洋和(第1・3週)
	午後	※下野 洋和	※下野 洋和	恒成 博 ※下野 洋和 上ノ町 仁 (週1・水PMまたは金PM)	※下野 洋和	恒成 博 上ノ町 仁 (週1・水PMまたは金PM)	—
呼吸器内科	午前	副島 賢忠 坂木 由宗	副島 賢忠 野元 吉二	野元 吉二 里村 緑	坂木 由宗(第1・3・5週) 里村 緑 井上 博雅(第2・4週)	野元 吉二 里村 緑	田村 浩子(第1週) 副島 賢忠(第2週) 野元 吉二(第3週) 里村 緑(第4週)
	午後	野元 吉二	田村 浩子	—	田村 浩子	—	—
外科	午前	前之原 茂穂 坂元 昭彦	迫田 雅彦	前之原 茂穂 米盛 圭一	坂元 昭彦 平瀬 雄規	迫田 雅彦	—
	午後	前之原 茂穂 坂元 昭彦	迫田 雅彦	前之原 茂穂 米盛 圭一	坂元 昭彦 平瀬 雄規	迫田 雅彦	—
呼吸器外科	午前	西島 浩雄 大塚 繩志	—	西島 浩雄(再診) 大塚 繩志	—	西島 浩雄(初診) (第1・2・3・5週)	—
	午後	—	—	西島 浩雄 大塚 繩志	—	大塚 繩志 (第3・4・5週)	—
眼科	午前	柿内 奈保子	柿内 奈保子	柿内 奈保子	柿内 奈保子	柿内 奈保子	柿内 奈保子(第1・3週)
	午後	柿内 奈保子	柿内 奈保子	手術	柿内 奈保子	—	—
耳鼻いんこう科	午前	牧瀬 高穂	手術	牧瀬 高穂	牧瀬 高穂	—	牧瀬 高穂
	午後	牧瀬 高穂	手術	手術	牧瀬 高穂	—	—
心療内科	午前	—	—	網谷 真理恵	—	—	—
	午後	—	—	網谷 真理恵 (第1・2・4・5週)	—	—	—
神経内科	午前	臼元 亜可理(第2・4週)	—	—	—	—	—
	午後	臼元 亜可理(第2・4週)	—	—	—	—	—
皮膚科	午前	—	—	—	—	—	—
	午後	—	—	—	—	渕戸山 充(第1・3・4・5週)	—
精神科	午前	中村 雅之(隔週)	—	—	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
専門外来	睡眠外来	午前	里村 緑(第2.4週) 田村 浩子(第1.3.5週)	—	長濱 博行	—	坂木 由宗(第1・4・5週) 里村 緑(第2週) 田村 浩子(第3週)
	緩和ケア外来	毎週金曜日(午前のみ)	平峯 靖也				
	禁煙外来	毎週月・金曜日(午後のみ)	副島 賢忠				
	肝移植外来	金曜日(午後・隔週)	原田 昇(第2週)、戸島 剛男(第4週)				



鹿児島市与次郎1丁目13番1号

代 表 TEL: 099-252-2228 FAX: 099-252-2736
地域医療連携室 TEL: 099-252-9878 FAX: 099-252-2280

肝・胆膵・消化管疾患に対するご相談は

鹿児島厚生連病院医師専用

肝・胆膵疾患ホットラインへ



080-8360-5575